厚木市営体育施設指定管理者候補者の選定結果について

１　審査対象団体（受付順）

| No | 団体等の名称 |
|---|---|
| １ | Ａ者 |
| ２ | スポーツの聖地共創パートナーズ |
| ３ | Ｃ者 |
| ４ | Ｄ者 |
| ５ | Ｅ者 |

２　選定方針等

指定管理者候補者の選定に当たっては、「厚木市指定管理者制度運用ガイドライン」に基づき、審査を実施した。

３　審査日程等

(1)　書類審査

ア　日時　令和８年８月 19 日（水）

イ　場所　厚木市役所本庁舎３階　特別会議室

(2)　ヒアリング審査

ア　日時　令和８年９月 29 日（火）

イ　場所　厚木市役所本庁舎４階　大会議室

４　指定管理者候補者

スポーツの聖地共創パートナーズ

（代表団体：コナミスポーツ株式会社

構成団体：相鉄企業株式会社、株式会社キノシタコミュニティ）

５　採点結果

(1) 採点結果並びに候補者及び次点者

| 順位 | 団体等の名称 | 書類審査<br>配　点：600 点<br>基準点：360 点 | ﾋｱﾘﾝｸﾞ審査<br>配　点：300 点<br>基準点：180 点 | 採点結果<br>配点合計：900 点<br>基準点　：540 点 | 結果 |
|---|---|---|---|---|---|
| １ | スポーツの聖地共創パートナーズ | ４７２点 | ２２２点 | ６９４点 | 候補者 |
| ２ | Ｅ者 | ４２０点 | ２５８点 | ６７８点 | 次点者 |
| ３ | Ｃ者 | ４１２点 | ２０６点 | ６１８点 | |
| ４ | Ａ者 | ３８１点 | | ３８１点 | |
| ５ | Ｄ者 | ３４４点 | | ３４４点 | |

※採点者は、６人の厚木市指定管理者選定評価委員会委員

※委員１人の配点は、書類審査１００点、ヒアリング審査５０点

## (2) 書類審査及びヒアリング審査における採点結果

ア　書類審査採点結果（選定評価委員会委員６人の合計点）

| 審査対象団体名 / 審査項目（配点・基準点） | スポーツの聖地共創パートナーズ | E者 | C者 | A者 | D者 |
|---|---|---|---|---|---|
| １　施設の適正な管理運営の基本的な理念（60 点・36 点） | ５０ | ４６ | ４４ | ４２ | ３４ |
| ２　維持管理業務の基本的な考え方（60 点・36 点） | ５０ | ４６ | ４４ | ４０ | ３４ |
| ３　保安・警備計画（60 点・36 点） | ４４ | ４２ | ４４ | ３８ | ３６ |
| ４　実施事業計画（60 点・36 点） | ５２ | ５０ | ３８ | ４０ | ３２ |
| ５　業務水準の維持、向上方策（90 点・54 点） | ７５ | ６３ | ６６ | ６６ | ５１ |
| ６　組織経営の安定性（90 点・54 点） | ７５ | ５７ | ７８ | ３３ | ５７ |
| ７　関係法令や条例等の遵守に係る体制の整備、環境方針への配慮の考え方（60 点・36 点） | ４２ | ４０ | ４２ | ４２ | ３６ |
| ８　管理経費（120 点・72 点） | ８４ | ７６ | ５６ | ８０ | ６４ |
| 採点合計（600 点・360 点） | ４７２ | ４２０ | ４１２ | ３８１ | ３４４ |

イ　ヒアリング審査採点結果（選定評価委員会委員６人の合計点）

| 審査対象団体名<br>審査項目<br>（配点・基準点） | E者 | スポーツの聖地共創パートナーズ | C者 |
|---|---|---|---|
| 1　施設の適正な管理・運営の基本的な理念<br>（60 点・36 点） | ５２ | ４４ | ４２ |
| 2　維持管理業務の基本的考え方<br>（60 点・36 点） | ５２ | ４２ | ４８ |
| 3　保安・警備計画<br>（60 点・36 点） | ４８ | ４２ | ４０ |
| 4　実施事業計画<br>（60 点・36 点） | ５２ | ４８ | ３４ |
| 5　業務水準の維持、向上方策<br>（60 点・36 点） | ５４ | ４６ | ４２ |
| 採点合計<br>（300 点・180 点） | ２５８ | ２２２ | ２０６ |

## ６　選定理由

・グループの経営の安定性を高く評価した。

・施設内だけでなく、施設外も含めて地域のスポーツ力を高めていくという底上げの考え方に共感した。

・利用者の水準をコロナ禍前の状況まで回復させていくために、新たな価値を有するサービスを導入し、施設としての成長を目指す事業計画が立てられていた。

・運営に当たり、組織体制の構築など運営上のリスク管理についても具体的な計画が立てられており、事業のバランスに優れていた。

・トップアスリートや市内スポーツ団体との連携による豊富なイベント計画は、市が推進する「スポーツの聖地づくり」に大きく貢献するものと期待される。

・施設の維持管理や修繕において、中･長期的な視点に基づく意欲的な修繕計画が策定されており、課題を未然に把握し、能動的に解決へ取り組む姿勢も選定の大きな決め手となった。